

室内ペタンク(ニチレクボール)



ペタンクの原型となったゲームは、エジプトのファラオ時代の遊技であると言われていますが、現在行われているゲームは、フランス

スのマルセイユ近くのシオタという町が発祥の地です。したがってフランス、およびフランス語圏では大変人気の高いスポーツで、子どもから高齢者まで多世代にわたって楽しまれています。

屋外で楽しむペタンクの室内版として開発されたのが室内ペタンク(ニチレクボール)です。ルールはペタンク同様に、ビュットと呼ばれる目標球に向かって柔らかい特殊なボールを投げ合い、より近づけることによって得点を競うゲームです。ボールは最初からゴロで転がしても、空中に高く投げあげても構いません。ただし、普通は手のひらを下に向け、手首を返し投球します。このような投げ方をすることで、ボールにバックスピんがかかり、距離をコントロールしやすくなります。

柔らかいボールを使用しているため室内競技には適しています。体育館などで幅4m、長さ15mのスペースを確保し、標的球を投げるチームを決め、投げるチームが先攻となりゲームがスタートします。基本は1チーム3名で2チーム対抗となります。ビュットに向かって赤いサークルの中から赤と青ボールを投げ合い、両チームがすべてボールを投げ終わった時点で標的球に最も近いチームに得点が入ります。ビュットに当ててもよいし、相手のボールに当ててもよいので、局面が大きく変わるおもしろさもあります。

参 考 ● 『ニュースポーツベスト7』

(公財)日本レクリエーション協会発行